

体調・免疫サポート食品およびサービスの国内市場を調査

—2020年見込（2019年比）—

- 体調・免疫サポート食品の国内市場 8,823億円（5.2%増）
 ～消費者の体調管理・免疫対策への意識が高まったことなどから市場が拡大～
- ビタミンD訴求食品市場 50億円（2.6倍）
 ～メディアやSNSなどで免疫力向上に対する有用性が取り上げられ、需要が急増～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に体調管理や免疫力を高める消費者意識の向上により注目される体調・免疫サポート食品およびサービスの国内市場を調査・分析した。その結果を「[体調・免疫サポート市場の最新動向調査 2020](#)」にまとめた。

この調査では、体調管理や免疫力向上に関連する成分や素材を配合した体調・免疫サポート食品を基礎栄養、腸内環境、伝統素材、発酵食品に分類し、市場動向を捉えると共に、栄養摂取検査サービス、腸内環境検査サービスなど体調・免疫サポートサービスの市場実態を明らかにした。また、体調管理・免疫対策に関する意識変化を把握するため、消費者アンケート調査を実施した。

<調査結果の概要>

■体調・免疫サポート食品の国内市場

	2019年	2020年見込	2019年比
基礎栄養	2,173億円	2,222億円	102.3%
腸内環境	3,921億円	4,193億円	106.9%
伝統素材	312億円	303億円	97.1%
発酵食品	1,978億円	2,106億円	106.5%
合計	8,383億円	8,823億円	105.2%

※市場データは四捨五入している

2020年の市場は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に消費者の体調管理・免疫対策への意識が高まったほか、成分や素材の免疫機能に関するメディア報道の増加を追い風に、特に基礎栄養や腸内環境、発酵食品が伸長し、2019年比5.2%増の8,823億円が見込まれる。

基礎栄養は2017年以降市場が縮小していたものの、2019年はインバウンド需要を追い風にビタミン・ミネラル複合訴求食品が好調で、拡大に転じた。2020年はインバウンド需要が減退するものの、新型コロナウイルス感染症の影響から免疫対策需要が増加し、ビタミンDやタンパク質訴求食品が大幅に伸長するとみられ、2019年比2.3%増の2,222億円が見込まれる。

腸内環境は2015年から2016年にかけて、腸内フローラがメディアで取り上げられる機会が増加したことで消費者の腸内環境改善に対する意識が高まり、市場は拡大した。2017年以降市場は落ち着いたものの、2020年は乳酸菌を中心に免疫力向上機能が注目されたことで再び需要が増加し、市場は2019年比6.9%増の4,193億円が見込まれる。

伝統素材は免疫賦活作用のイメージが定着しており、2020年はマヌカハニーなどが免疫対策需要を取り込み伸長しているものの、ダイエットイメージの強い大麦などの苦戦が影響し、市場は縮小が予想される。

発酵食品は腸内フローラなど腸内環境改善に関する情報の広がりとともに需要が増加してきた。2020年は免疫力を高める食品としてメディアへの露出が増加した納豆やキムチなどが伸長し、市場は2019年比6.5%増の2,106億円が見込まれる。

<注目の市場>

●ビタミンD訴求食品【体調・免疫サポート食品】

2019年	2020年見込	2019年比
19億円	50億円	2.6倍

ビタミンDは日光に当たることにより皮膚で合成されるという特性を持つ。しかし、近年は日焼け止めの使用や熱中症対策により女性や高齢者を中心に日光浴不足からビタミンD不足が指摘されており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後は外出自粛により日光浴の機会がさらに減少したことで、消費者の危機感が強まっている。2020年はメディアやSNSなどでビタミンDの免疫力向上に対する有用性が取り上げられ、サプリメントの需要が増加した。また、ヤクルト本社が「ジョア 1日分のカルシウム&ビタミンD」を発売したことで市場は拡大し、2019年比2.6倍の50億円が見込まれる。

●マヌカハニー【体調・免疫サポート食品】

2019年	2020年見込	2019年比
43億円	51億円	118.6%

マヌカハニーはニュージーランドに原生するマヌカ樹木から採取されるはちみつであり、高い抗菌作用が注目されている。ここではマヌカハニー（はちみつ）とマヌカハニー訴求食品を対象としている。はちみつが市場の大半を占め、商品認知度の向上に伴い通販チャネルを主体に需要を取り込み、2015年以降二桁伸長が続いている。

2020年はメディアで抗菌作用の高さが取り上げられたことから、はちみつのみならずのど飴などでも免疫対策需要を獲得し、市場は2019年比18.6%増の51億円が見込まれる。今後もリピーター需要を中心に、市場拡大が予想される。

●納豆【体調・免疫サポート食品】

2019年	2020年見込	2019年比
1,273億円	1,335億円	104.9%

納豆は健康志向から購買する消費者が年々増加し、市場が拡大してきた。2019年は前年まで続いていた納豆ブームが落ち着いたことから伸びが鈍化したものの、2020年は納豆菌の免疫力向上作用がメディアで紹介されたことから、新型コロナウイルス対策への期待感が高まり需要が急増し、2019年比4.9%増の1,335億円が見込まれる。

●栄養摂取検査サービス【体調・免疫サポートサービス】

2019年	2020年見込	2019年比
3億円	4億円	133.3%

尿検査、遺伝子検査、血液検査や、生体センサーなどを内蔵した機器による診断、健康管理アプリに紐づいたサプリメント販売サービスを対象とする。

2017年にユカシカドが尿検査の結果に応じて最適なサプリメントを提供するサービス「VitaNote FOR」を開始し、本格的に市場が立ち上がった。血液検査や遺伝子検査によるサービスは以前から存在していたものの消費者への浸透はあまり進んでいない。尿検査は手間などの負担が少なく検査時点での健康状態が分析できるため需要が高まっている。2015年から2017年にかけて参入が増加し、2018年、2019年は順調に利用者数が増えたことで市場は拡大した。

2020年はファンケルが尿検査の結果に応じたパーソナルサプリメントの販売を開始したことなどからさらに注目され、2019年比33.3%増の4億円が見込まれる。

<消費者アンケート調査>

●免疫力向上に良さそうなイメージのある行動【n=30,000/複数回答】

順位	行動	回答率
1位	十分な睡眠	82.5%
2位	発酵食品の摂取（納豆・ヨーグルトなど）	65.8%
3位	運動	65.4%
4位	野菜の摂取	58.4%

免疫力向上に良さそうなイメージのある行動としては回答者の8割以上が「十分な睡眠」、6割以上が「運動」「発酵食品の摂取」、5割以上が「野菜の摂取」を挙げた。そのほか、「フルーツの摂取」やナッツ、種実などの「栄養価の高い素材食品の摂取」を挙げる回答者も3割以上みられた。消費者が持つ免疫力向上に良さそうな行動としては、健康成分を添加・強化した健康飲料やサプリメントの摂取よりも、健康維持・増進の基本となる運動や睡眠、自然の野菜や発酵食品の摂取が高い傾向となった。

<調査対象>

体調・免疫サポート食品		
基礎栄養	・ビタミン・ミネラル複合 ・マルチビタミン ・ビタミンA ・ビタミンB群	・ビタミンC ・ビタミンD ・ビタミンE ・マルチミネラル
		・亜鉛 ・タンパク質 ・ラクトフェリン ・核酸
腸内環境	・乳酸菌 ・ビフィズス菌 ・乳酸菌・ビフィズス菌複合	・食物繊維 ・オリゴ糖 ・プルーン
		・酪酸菌
伝統素材	・大麦 ・プロポリス	・マヌカハニー ・アガリクス
		・霊芝 ・エキナセア
発酵食品	・機能系ヨーグルト ・納豆	・キムチ ・甘酒
		・ケフィア
生鮮食品（ファイトケミカル）	・バナナ ・りんご ・キノコ類	・大根 ・海藻類 ・たまご
		・にんにく ・ブロッコリー ・緑茶
スーパーフード		
体調・免疫サポートサービス		
・栄養摂取検査サービス	・腸内環境検査サービス	・体質検査・その他サービス

※体調・免疫サポート食品の国内市場は基礎栄養、腸内環境、伝統素材、発酵食品を対象とする

※発酵食品の内、機能性ヨーグルトは含まれていない

※生鮮食品（ファイトケミカル）、体質検査・その他サービスは市場を算出していない

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2020年6月～7月

【消費者アンケート調査】

<調査対象>

20歳以上の男女30,000名

<調査方法>

インターネット調査

<調査期間>

2020年7月10日～13日

以上

資料タイトル : [「体調・免疫サポート市場の最新動向調査 2020」](#)
体裁 : A4判 259頁
価格 : 書籍版 150,000円+税
PDF+データ版 160,000円+税
書籍/PDF+データ版セット 180,000円+税
ネットワークパッケージ版 300,000円+税
発行所 : 株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
TEL : 03-3664-5811 (代) FAX : 03-3661-0165
URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail : info@fuji-keizai.co.jp
調査・編集 : フードビジネスソリューション事業部

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/press/>